

R3年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市体育協会高山S.C.				
所在地	生駒市高山町166番地2				
指定管理者名	一般財団法人生駒市スポーツ協会	指定期間	開始日	令和 2 年 4 月 1 日	
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和 7 年 3 月 31 日	
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 5 年のうち 2 年目		
設置目的	市民の体育およびレクリエーション、生涯スポーツの振興など				
主な実施事業等	体育施設の使用許可、使用の制限、使用料の窓口徴収業務、体育施設の維持管理など				

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
体育館多目的室	人	40,000	41,045	151.42%	
グラウンド	人	80,000	60,843	128.73%	
ランニングトラック	人	200	3,478	996.56%	
野球場	人	5,000	6,612	100.41%	
テニスコート	人	8,000	9,868	133.82%	

3 事業収支

		事業計画	事業報告(実績)	(参考)前年度実績
収入計	A	51,016,000	55,494,776	52,573,754
	指定管理料	42,706,000	42,706,000	42,706,000
	利用料金収入	8,200,000	12,216,853	9,104,780
	自主事業収入	110,000		527,370
	その他		571,923	235,604
支出計	B	50,906,000	33,486,661	40,918,778
	指定事業費	50,906,000	33,486,661	40,137,419
	うち人件費	18,000,000	10,141,136	9,953,410
	うち再委託料	20,300,000	14,904,172	18,312,309
	自主事業費			781,359
事業収支	A-B	110,000	22,008,115	11,654,976
利用料金比率	C/A	16.07%	22.01%	17.32%
人件費比率	D/B	35.36%	30.28%	24.32%
再委託費比率	E/B	39.88%	44.51%	44.75%
補足説明(必要に応じて記入)				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置・その他()
実施結果	意見内容等		対応実績等
	利用者に接遇、利用環境、管理運営についてアンケートを行ったところ、4段階評価中90%以上で普通または満足 の評価を受けた。		備品の再確認や整備を行い、次年度の備品要求に反映をする予定。また、軽易に対応できるものについては速やかに改善を行った。

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	
利用者のニーズをとらえ、安全かつ衛生的な環境で利用できるよう、利用者満足度の高い管理運営を行っている。	
市の評価	
	周辺住民への配慮を考慮し、施設の管理運営を行っていただいたことには高く評価しています。今後も指定管理者応募時の事業計画に則り、地元スポーツ協会ならではの利用者目線に立った適切な管理運営を期待しています。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	
それぞれの利用者合った、公正な管理運営を行っている。	
市の評価	
	市の受付事務の手引き等を遵守し、公平で適正な施設使用許可がなされている。また、市内他の体育施設指定管理者と連携・協力し、市民が利用しやすいよう、創意工夫がなされている。その他、施設の有効活用の観点から、施設利用の少ない時間帯については、目的外での使用等、積極的に市の方針に協力をされている。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	
利用者の満足度は概ね高いものの、備品の経年劣化や老朽化したものは順次、可能な範囲で入替を行っている。	
市の評価	
	市のスポーツ振興の最も中心的な存在である（一財）生駒市スポーツ協会が指定管理者であるため、利用者の声を施設の管理運営に取り入れられていることはもとより、協会加盟29競技団体からの要望を、施設の管理運営面において素早く対応されているため、市への苦情も少なく、利用者の満足度は高いものである。利用者に対しては、従前通り丁寧な対応を心がけ、施設利用者が気持ちよく利用できるよう、引き続き努めてもらいたい。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
LED化やトイレなどの人感スイッチへの移行を行い、消耗品などの引き締めに取り組んでいる。	
市の評価	
	軽微な施設の修繕や備品の修理等は、管理者自らが行うなど経費の節減をされており、外部委託が必要となる業務については、業務内容を精査し委託業者と調整の上、経費節減を心がけるとともに、使用に影響のない範囲で、使用者に対してこまめな消灯や節水などの周知啓発もされている。また、広大な敷地面積のため、植栽も多く、職員による剪定や清掃等による経費節減への努力も見受けられる。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
顧客満足度の高い運営を行い、施設の有効活用を進め利用料金増をはかる。また総合型地域スポーツクラブの収益増、自販機をはじめとした自主事業の増加を目指す。	
市の評価	
	施設独自での自主事業の開催や利用者サービスとしての物品販売、自動販売機の設置など収入増加対策を講じられている。今後も地域の方々に利用してもらえるような事業の展開や、利用状況を見ながら、比較的空きが多い施設や時間帯などで、目的外使用や営利使用などでの施設活用を進め、利用料金の増加に努めてもらいたい。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	
市内在住者で各施設必要な人材を適材適所に配置している。環境マネジメントシステムに沿った運用を行っている。協会加盟競技団体や総合型地域スポーツクラブなど、市スポーツ協会の能力を活かした地域連携を行っている。	
市の評価	
	地元スポーツ協会が指定管理者であるため、市民を積極的に雇用されている。また、協会役員の中には、ECO-net1こまの関係者もあり、本市環境マネジメントシステムを熟知されているため、環境行動の取組については高い評価ができる。なお、1期目の初年度から地域との交流も図っておられ、地元スポーツ協会でしか成しえない地域連携と感じるので、引き続き努力いただきたい。

自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	総合型地域スポーツクラブで、個人参加型教室（バドミントン、ソフトバレー、卓球）の実施のほか、地域住民のいこいの場としてサロンを設けた。
市の評価	個人参加型スポーツ教室やFCバルセロナサッカースクール奈良校のほか、レストルーム内を改築し、地域の方々が集える場所作りに努められた。
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	防災防火対応の専門知識を有する人材を雇用し危機管理マニュアルに沿って緊急時の連絡体制や役割分担を明確にし、有事の際には早急な対応可能体制を整えている。また、個人情報を取扱う窓口業務や、会員管理には特に注意を払っている。
市の評価	スポーツ活動には事故が起こる可能性が高いことや施設が避難所になっていることから、防災防火対応の専門知識を有する人材の雇用については評価できる。また、普通救命講習会を開催するなど、利用者の安全確保を第一に考えた取組をされたことは高く評価できる。
サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
指定管理者による自己評価	令和3年度は、施設利用料収入が大幅に増えたが、次年度も施設利用率を上げるなど安定した管理運営を行う。
市の評価	利用料金制を導入しており、年度によって施設の利用料収入に若干の違いが生じることが予想されるが、施設の有効活用や自主事業などで収入を増加させる努力をなされている。また、LED化やトイレ電気の人感センサー化を行ったことによる電気料金の削減がコロナ禍の中ではあるが、安定した運営に繋がったと感じる。今後は、施設の空き時間帯を利用した目的外使用や営利使用などの活用を進めるとともに、総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」の継続的な活動をはじめ、市民のスポーツ活動が促進されるような自主事業の展開を期待する。

6 指定管理者の財務の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
資産	25,044,549	45,308,721	68,839,976
流動資産	25,044,549	45,308,721	68,839,976
固定資産	0	0	0
負債	535,800	2,028,800	3,268,300
流動負債	535,800	2,028,800	3,268,300
固定負債	0	0	0
資本	3,000,000	3,000,000	3,000,000
資本金	3,000,000	3,000,000	3,000,000
売上高	9,025,847	23,657,948	35,107,843
経常利益	4,442,935	18,501,172	22,561,755

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
自己資本比率 資本/資産×100	12.0%	6.6%	4.4%
負債比率 (流動負債+固定負債)/資本×100	17.9%	67.6%	108.9%
固定比率 固定資産/資本×100	0.0%	0.0%	0.0%
流動比率 流動資産/流動負債×100	4674.2%	2233.3%	2106.3%
固定長期適合率 固定資産/(資本+固定負債)×100	0.0%	0.0%	0.0%
総資産回転率 売上高/資産×100	36.0%	52.2%	51.0%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	17.7%	40.8%	32.8%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価

職員のスキルアップをはかり、どの施設でも均一かつ良質なサービスと満足度の向上をめざす。
財務状況については空きスペースの利用率を上げる努力し、利用料収入をアップさせ健全な経営につなげる。
施設の老朽化に伴う修繕を的確にコントロールし、長期運営を見据えて投資も考慮に入れ行ってゆく。
地域自治会やバルサアカデミーとの連携を通じた施設として特徴ある施設に作り上げる。

市の評価

市内最大のスポーツ団体である（一財）生駒市スポーツ協会が指定管理者であることが、市内のスポーツ愛好家にとって、より良いスポーツ環境を作り出すことに繋がっていると考えている。今期からの指定管理ではあるが、しっかりと利用者や地域の方々のニーズを把握することに努めておられ、多くの施設利用者に喜ばれていると感じる。また自主事業においてもFCバルセロナサッカースクール奈良校や個人参加型スポーツをおこなっていただいております。今後も今以上に関係団体と連携・協力し、時代やニーズに合わせた事業を行っていただきたい。